

つくばね vol.24no.1

● 目次

- 1 イギリスとフランスの電子図書館
- 3 本学教官寄贈著書紹介
- 5 平成9年度附属図書館統計
- 7 図書館便利マップ
- 10 Ask Us としょかんミニガイド
- 12 附属図書館ボランティア記念式・講演会開催
- 13 とびっくす
- 14 掲示板

イギリスとフランスの電子図書館

平岡 博, 岩見 真二, 内藤 英雄, 西原 清一

1998年2月22日から3月1日までの8日間、私たち4人は、筑波大学国際交流計画事業の一環で、電子図書館の現況を調査することを目的として、イギリスとフランスに派遣していただきました。

22日に成田からロンドンまで飛び、翌23日はロンドンの西150キロにあるバースに向かいました。

UKOLN

バース大学図書館の5階にあるUKOLN (The UK Office for Library and Information Networking) の事務室で、Rachel HeeryさんにROADSプロジェクトについて、Isobel StarkさんにAriadneについてお話を伺いました。

(<http://www.ukoln.ac.uk/>)

ROADSは、国家的プロジェクトであるeLib (Electronic Libraries Programme) のプロジェクトのひとつで、ネットワーク上の情報資源に効率よくアクセスするための情報資源の記述 (メタデータ) の作成, 収集, 配布などの方法についての調査とソフトウェア開発を行っています。

(<http://www.ilrt.bris.ac.uk/roads/>)

AriadneはeLibの進捗状況を報告することを主たる目的とした電子ジャーナルです。

(<http://www.ariadne.ac.uk/>)

BIDS

バース大学のコンピュータ・センターでは



バース大学図書館・学習センター：350台のパソコンが配置されている。

Terry MorrowさんからBIDSの活動について教えてもらいました。

BIDSは、イギリス国内にあるデータセンターのひとつで、SCIやEMBASEなどの二次情報データベースを大学や研究機関に提供しています。

また、1996年からはJournalsOnlineという、いくつかの出版社の学術雑誌の原文提供を始め、さらに1997年からは、二次情報データベースと雑誌論文とをハイパーリンクで結んだサービスも始めました。

(<http://www.bids.ac.uk/>)

ロンドン大学図書館

24日はロンドン大学 (University College London) を訪問し、中央図書館では副館長のJanet Cropperさんにexam papers systemを見せてもらいました。学生のための試験問題が図書館に置いてあるのですが、貸出要求が高いので、それら試験の全文をデータベース化してネットワーク経由で閲覧できるようにしたものです。

自然科学図書館ではSarah McGivernさんからeLibプロジェクトのひとつであるLAMDAの話を知りました。LAMDAは相互貸借システムで、総合目録の検索、文献の依頼、ドキュメント・デリバリーがリンクされています。

(<http://www.ucl.ac.uk/Library/>)

(<http://www.ucl.ac.uk/Library/lamda/>)

ケンブリッジ大学図書館

25日はケンブリッジに行き、情報技術課長のPatricia Killiardさんに、マニユスクリプトや古



ケンブリッジ大学のキャンパスを流れるケム川にかかる数学橋

書をデジタル・カメラで撮影入力している現場などをご案内いただきました。

(<http://www.lib.cam.ac.uk/>)

イギリスの電子図書館プロジェクトは、大学の研究者も巻き込んでいて、研究開発的な色彩を帯びていますが、その基底には学生数の増大とか資料価格の高騰とかいったきわめて現実的な要請が横たわっているのが特徴です。

BIDSのJournalsOnlineは雑誌の価格高騰への対応策ですし、LAMDAはBLDSCより安価で迅速な文献入手への要望に基づいています。



フランス国立図書館：本を開いて立てた形のビルディングが4つ立つ

フランス国立図書館 (トルビアック)

26日にロンドンからパリに移動し、翌27日、トルビアック通りに面した新しいフランス国立図書館で、システム開発・ネットワーク局のJean-Didier WagnerさんからGallicaという電子図書館システムの説明を受けました。

Gallicaは、電子化したフランス国立図書館の資料をネットワーク環境で検索して、表示することができるシステムです。Gallicaの課題として、Wagnerさんは、ユーザ・インターフェースの評価と改善ということを特に強調していました。

(<http://www.bnf.fr/>)

(<http://gallica.bnf.fr/>)

今回の調査の実現のためには筑波大学の関係の方々のご配慮をいただきました。特に、研究協力部、図書館部の皆様にはたいへんお世話になりました。心からお礼申し上げます。

参考文献

- 1) 尾城孝一 “英国の大学図書館における電子的情報サービスの進展” 「大学図書館研究」52, 1997.12, pp.36-51
- 2) 平岡博 “英国Bath大学を拠点とした電子図書館プロジェクト” 「大学図書館研究」53, 1998 掲載予定

(ひらおか・ひろし)

図書館情報大学図書館情報課情報資料係長)

(いわみ・しんじ 研究協力部国際交流課)

(ないとう・ひでお 情報管理課長)

(にしはら・せいいち 電子・情報工学系教授)



本学教官寄贈著書紹介

平成9年度中に寄贈を受けた本学教官の著書を紹介いたします。(敬称略, 寄贈者五十音順, 所属は平成9年度のものです。)

青柳悦子 (現代語・現代文化学系) 言葉の国のアリス. 夏目書房, 1997 [翻訳書]

秋山学 (文芸・言語学系) 雅歌講話. 新世社, 1991 [翻訳書]

天野正治 (教育学系) ドイツの異文化間教育/見世千賀子 (教育学系) 共著. 玉川大学出版部, 1997

安藤亘 (化学系) 有機合成における光化学反応. 三共出版, 1983 ; The role of oxygen in chemistry and biochemistry. Elsevier, 1988 (Studies in organic chemistry 33)

池田裕 (歴史・人類学系) ユダヤ大事典. 新人物往来社, 1997 (別冊歴史読本 96)

磯田正美 (教育学系) 多様な考えを生み練り合う問題解決授業. 明治図書出版, 1996 (シリーズ・21世紀算数授業への挑戦 3) ; テクノロジーを活用した新しい数学教育. 明治図書出版, 1997 (シリーズ・魅力ある数学授業を創る 4)

磯田正美, 清水静海, 能田伸彦 (教育学系) 21世紀への学校数学の創造. 筑波出版会, 1997

入江康平 (体育科学系) 本多利實弓道論集. 限定版. いなほ書房, 1997 (弓道資料集 11)

及川武久 (生物科学系) 森林生態系の生物地球化学. シュプリンガー・フェアラーク東京, 1997 [翻訳書]

大熊昭信 (現代語・現代文化学系) ウィリアム・ブレイク研究. 彩流社, 1997

大山耕輔 (社会科学系) 行政指導の政治経済学. 有斐閣, 1996

岡田益吉 (名誉教授) 死はなぜ進化したか. 三田出版会, 1997 [翻訳書]

岡村健二 (臨床医学系) 豊かな老後を支える医療を考える. 日本図書刊行会, 1997

勝田茂 (体育科学系) 運動生理学20講. 朝倉書店, 1993 ; 入門運動生理学. 杏林書院, 1997

加藤栄一 (名誉教授) 単行本づくりの軌跡と弁明. 樹発行所, 1997

加納克己, 高橋秀人 (社会医学系) 基礎医学統計学 改訂第4版. 南江堂, 1995

狩野昊子 (現代語・現代文化学系) ロシア語ジェスチャー表現辞典. ナウカ, 1997

菊池修 (化学系) 基礎量子化学. 朝倉書店, 1997 (基本化学シリーズ 8)

北原保雄 (文芸・言語学系) 青葉は青いか. 大修館書店, 1997

金原禮子 (現代語・現代文化学系) フォーレ: ゆかりの地を訪ねて. 音楽之友社, 1997 ; フォーレ頌. 音楽之友社, 1995

功力靖雄 (体育科学系) アマチュア野球教本 2. ベースボール・マガジン社, 1997

駒井洋 (社会科学系) 社会知のフロンティア. 新曜社, 1997 ; 新来・定住外国人がわかる事典. 明石書店, 1997

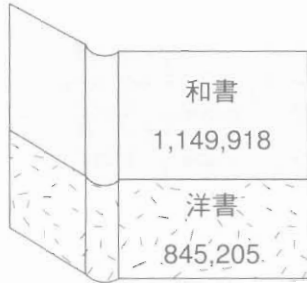
西藤宏司 (体育科学系) 宏峯への道. [西藤宏

- 司], 1997
- 桜井茂男 (心理学系) 現代に生きる若者たちの心理. 風間書房, 1997; 「無気力」の教育社会心理学. 風間書房, 1995
- 品川芳宣 (社会科学系) 徹底対論相続税財産評価の論点. ぎょうせい, 1997
- 砂川有里子 (文芸・言語学系) 教師と学習者のための日本語文型辞典. くろしお出版, 1998
- 鈴木光剛 (名誉教授) 生物と自然のハーモニー. 産調出版, 1997
- 副田義也 (社会科学系) 教育勅語の社会史. 有信堂高文社, 1997
- 竹原均 (社会工学系) ポートフォリオの最適化. 朝倉書店, 1997 (ファイナンス講座 5)
- 高橋伸夫 (地球科学系) 新しい都市地理学/村山裕司 (地球科学系) 共著. 東洋書林, 1997
- 高橋伸夫, 手塚章 (地球科学系) パリ大都市圏. 東洋書林, 1998
- 田島裕 (社会科学系) 企業法学 6. 商事法務研究会, 1997
- 棚次正和 (哲学・思想学系) 宗教の根源. 世界思想社, 1998
- 田沼睦 (名誉教授) 筑波大学所蔵文書 上: 北野神社文書. 続群書類従完成会, 1997 (史料纂集 28)
- 鄭仁豪 (心身障害学系) 聴覚障害児の読みのプロセスに関する実験的研究. 風間書房, 1996; 韓国大学全覧/遠藤誉 (物理工学系) 共編. 厚有出版, 1997
- 手嶋豊 (社会科学系) 現代不法行為法学の分析. 有信堂高文社, 1997
- 手塚章 (地球科学系) 続・地理学の古典. 古今書院, 1997
- 永塚鎮男 (応用生物化学系) 原色日本土壌生態図鑑. フジ・テクノシステム, 1997
- 西川潔 (芸術学系) ビレッジサイン. 玉川大学出版部, 1998
- 西澤龍生 (名誉教授) デイオニューソス: 神話と祭儀. 論創社, 1997 [翻訳書]
- 蓮見孝 (芸術学系) マルゲリータ女王のピッツァ. 筑波出版会, 1997
- 花井等 (歴史・人類学系) 現代政治と人間. ミネルヴァ書房, 1971; ジャイアント日本のゆくえ. 東洋経済新報社, 1973 [翻訳書]; 中国以後の日本. サイマル出版会, 1973; ニッポン新国富論. ダイアモンド社, 1982
- 林一六 (生物科学系) 植生地理学. 大明堂, 1990 (自然地理学講座 5)
- 星野靖雄 (社会工学系) COFIS研究会レポート Vol.1, Vol.2. 全国信用金庫協会, 1995
- 堀輝三 (生物科学系) Ginkgo biloba global treasure. Springer-Verlag, 1997
- 堀口純子 (文芸・言語学系) 日本語教育と会話分析. くろしお出版, 1997
- 松田紀之 (社会工学系) Oracle Media Objectsで魅せる感性情報デザイン. オーム社, 1997
- 村上和雄 (応用生物化学系) 遺伝子からのメッセージ. 日新報道, 1996; 生命 (いのち) の暗号. サンマーク出版, 1997
- 三石善吉 (社会科学系) 中国的千年王国. 上海三聯書店, 1997
- 目崎登 (体育科学系) 女性スポーツの医学. 文光堂, 1997
- 山本恒夫 (教育学系) 庶民娯楽の面白さ. 学文社, 1978 (現代選書)
- 鷺谷いづみ (生物科学系) 保全生態学入門. 文一総合出版, 1996
- Henry Philip Frei (社会科学系) Japan's southward advance and Australia. Melbourne Univ. Press, 1991

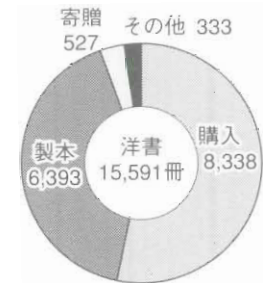


平成9年度附属図書館統計

蔵書数 1,995,123冊



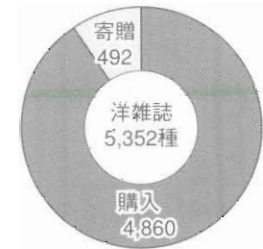
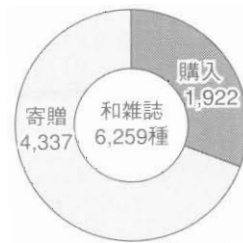
年間受入冊数 43,293冊



所蔵雑誌タイトル数 17,476種



継続雑誌タイトル数 11,611種

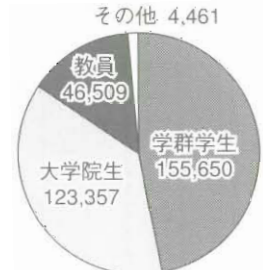


入館者数 814,342人



学外者	閲覧	25,505
	見学	4,249

貸出冊数 329,977冊



利用対象者数 22,322人

教員	3,024	職員	1,871	学生	11,211	大学院生	6,216
----	-------	----	-------	----	--------	------	-------

視聴覚資料利用者数 7,715人



視聴覚資料等利用資料数 10,613点



セミナー室等利用件数 15,301件

	セミナー室利用	研究個室利用	対面朗読室利用
計	3,741	11,334	226

参考業務件数 38,713件

	件数	質問種類別内訳			質問者別内訳		
		利用案内 利用指導	資料に関 するもの	事実に関 するもの	教職員	学群生・ 大学院生	学外者
中央	25,553	8,694	16,727	132	6,244	16,672	2,637
体芸	3,152	924	2,218	10	455	2,594	103
医学	8,397	1,830	6,556	11	5,999	1,780	618
大塚	1,611	322	1,289	0	132	1,432	47
計	38,713	11,770	26,790	153	12,830	22,478	3,405

情報検索件数 306件*
(オンライン代行検索)

中央	体芸	医学	大塚	合計
223	2	12	69	306

*CD-ROMによる情報検索サービスを提供しているが、セルフサービスのため統計からは除外した。

文献複写枚数 4,470,330枚



相互利用 44,976件



ボランティア活動状況

* () 内は対応人数

利用案内	見学案内*	対面朗読
3,770件	25件 (545人)	470時間

図書館 便利 マップ

こんな時はこちらへどうぞ

各館のカウンター取扱業務がひと目でわかる便利マップを作ってみました。

このマップを片手に図書館を散策してみてもいかがでしょうか？

中央図書館

レファレンスデスク

- 本や雑誌の探し方を知りたい
- コンピュータの使い方がわからない
- オリエンテーションの申込みをしたい
- 他大学の資料を取り寄せたい
- 他大学の図書館を利用したい
- 図書館に置いて欲しい図書がある



視聴覚メディア室

- ビデオ・CD・LD を利用したい
- マイクロ資料を利用したい

相互利用係

- 他大学に頼んだ資料を受け取りたい
- コピー機がうまく動かない



ボランティアカウンター

- 図書館の利用に不慣れな人のお手伝い
- 日本語が苦手な人のお手伝い

メインカウンター

- 図書館の利用全般について知りたい
- 本を借りたい・返したい
- セミナー室などを使いたい
- 落とし物をした・拾った

古典資料事務室

- 貴重書や和装本を見たい



電話番号一覧

メインカウンター	53-6055
レファレンスデスク	6056
視聴覚メディア室	2365
相互利用係	2373
古典資料事務室	6051

体育・芸術図書館

レファレンスデスク

- 本や雑誌の探し方を知りたい
- コンピュータの使い方がわからない
- オリエンテーションの申込みをしたい
- 他大学の資料を取り寄せたい
- 他大学の図書館を利用したい
- 図書館に置いて欲しい図書がある
- 他大学に頼んだ資料を受け取りたい
- マイクロ資料を利用したい
- コピー機がうまく動かない



メインカウンター

- 図書館の利用全般について知りたい
- 本を借りたい・返したい
- セミナー室などを使いたい
- 落とし物をした・拾った
- ビデオ・CD・LDを利用したい

メインカウンター 53-2878
レファレンスデスク 2865

医学図書館

メインカウンター

- 図書館の利用全般について知りたい
- 本を借りたい・返したい
- セミナー室などを使いたい
- 落とし物をした・拾った
- ビデオ・CD・LDを利用したい



レファレンスデスク

- 本や雑誌の探し方を知りたい
- コンピュータの使い方がわからない
- オリエンテーションの申込みをしたい
- 他大学の資料を取り寄せたい
- 他大学の図書館を利用したい
- 図書館に置いて欲しい図書がある
- 他大学に頼んだ資料を受け取りたい
- コピー機がうまく動かない

メインカウンター 53-3256
レファレンスデスク 3031

大塚図書館

カウンター

- なんでもここに聞いて下さい



カウンター 03-3942-6818/5819

◎利用できる時間は？

中央・体芸・医学図書館

月曜日～金曜日 9:00～22:00

土曜日・日曜日 13:00～18:00

*体芸図書館は日曜日休館

*春季及び夏季休業中には開館時間が短縮されます。

大塚図書館

月曜日 9:00～17:00

火曜日～金曜日 13:00～21:10

土曜日 13:00～19:50

*春季及び夏季休業中には開館時間が短縮されます。

詳しくは利用案内をご覧ください。

◎入館するには？

図書館の入口には、入館装置があります。装置のセンサー部分に身分証のバーコードを読み取らせ、OKの表示を確認して入館してください。

学生証・職員証を忘れずに！

◎オリエンテーション案内

筑波大学図書館では、前期（4月～6月頃）と後期（9月～10月頃）の2回に分けてオリエン

テーションを行っています。いくつかのテーマに分けて、それぞれ何回かずつ行いますので、ご希望のテーマを選んでお申し込みください。

オリエンテーションの実施日については、館内の掲示のほか、「STUDENTS」、「速報つくば」等でお知らせします。

オリエンテーションのテーマ

新入大学院生オリエンテーション

・新入大学院生を対象に資料の配置、探し方、貸出の方法等、図書館の使い方を紹介します。

蔵書検索オリエンテーション

・蔵書検索システムを使った図書館の本の探し方の説明と実習

留学生オリエンテーション

・留学生を対象に、英語と日本語で図書館の使い方の紹介と蔵書検索システムの実習

文献の探し方オリエンテーション

・専門分野に分けてそれぞれの分野の文献の探し方を説明します。

自由テーマオリエンテーション

・5名以上のグループで調査法や利用法の説明を受けたいときには、随時レファレンスデスクまでお申し込み下さい。



図書館利用のためのマナー講座



公共の場である図書館を快適に利用するためには次のことを守りましょう。

1. 借りた本は期限内に返却しましょう。待っている利用者がいます。
2. 本を汚したり書き込みするなんてもってのほか。
3. 又貸しはやめましょう。トラブルのもとです。
4. 使った本は必ず書架のもとの位置に戻すようにしましょう。

5. 蔵書検索用コンピュータで蔵書検索以外のことをする場合は効率よく行い、きちんと終了させましょう。
6. 館内では、ポケットベル、携帯電話のスイッチは切りましょう。（医師等の緊急呼び出し用は除く。）
7. 当然ですが、館内では静粛に。飲食、喫煙もがまんして下さい。

これらのマナーを守って、図書館をどんどん利用して下さい。きっとあなたの視野が広がります。



ASK US としょかんミニガイド

CA on CDの使い方

Q：CA on CDとは何ですか？

A：これはChemical Abstractsという化学分野の抄録誌に収録されている化学文献についての情報をCD-ROMにしたものです。筑波大学ではVol.128（1998）からのデータをCD-ROMで利用できるようになりました。データは毎月更新されます。

Q：どこで利用できるのですか？

A：中央・体芸・医学・大塚図書館の検索端末で利用できます。各図書館での端末の配置は、その図書館のレファレンスデスクにお問い合わせ下さい。

Q：どうやって検索したらいいですか？

A：では、実際の検索画面をみてみましょう。

〈始めに〉

まず、スタートメニューからCA on CDを選ぶと、次の画面が開きます。これが基本の画面です。（最初は何も表示されません）



この画面には沢山のアイコンがついています。まずは、アイコンの機能の説明から始めましょう。（左から順に）

1) Browse

Index Browseウィンドウを開き、各索引での検索語の一覧をします。

2) Search

Word Searchウィンドウを開きます。

3) Subst

Chemical Abstract索引名の階層表示（Substance Hierarchy）画面を開きます。

4) Form

分子式の階層表示（Formula Hierarchy）画面

を開きます。

5) Goto

ハイライトされた、又は、カーソルが位置しているCAS登録番号の物質レコードを表示します。また、特許ファミリーのレコードから、対応特許のレコードを表示させます。（ただし、同年のデータベースに存在している場合に限りです）

6) Next Link

文献レコードでは次のCAS登録番号へカーソルを移します。

7) SrchSel

表示されているレコード中で、ハイライトした文字をWordフィールドで検索します。

8) Print

表示されているか、マークしたレコードを、印刷スタイルの設定に従って印刷します。

9) Save

表示されているか、マークしたレコードを、指定のファイルに保存します。

10) Help

現在の内容についてのヘルプメッセージを表示します。

それでは、実際に簡単な検索をしてみましょう。

(1) Index Browseを使つての検索

例) アニリン（CA索引名：Benzenamine）に関する文献を検索する場合

まず、Browseアイコンをクリック又はSearchメニューからIndex Browseを選びます。すると、次のような画面になります。



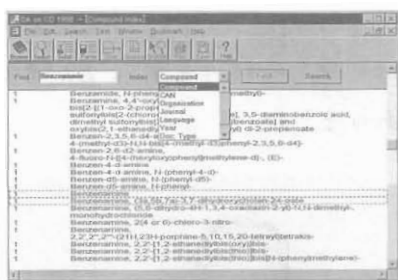
この画面では、各索引語がアルファベット順に一覧できます。（数字は英字の前に表示されます）どの索引語を表示するかは、Indexボックスで指

定します。

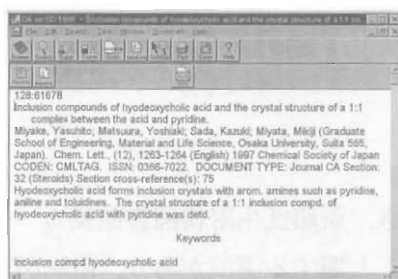
ウインドウ右のスクロールバーも利用できますが、Findボックスに検索語を入力すると、速く簡単に索引語に到達できます。

また、検索語の左側に出ている数字は「該当文献数/その文献に含まれる検索語の合計頻度」を表しています。

今回は化学物質名での検索ですので、Indexボックスを“Compound”と指定し、Findボックスに“Benzenamine”と入力します。



索引語の一覧の中から“Benzenamine”をハイライトさせ、ダブルクリックするかSearchボタンをクリックすると、文献タイトルの一覧が表示されます。見たいタイトルをダブルクリックすると、詳細情報が表示されます。



(2) Word Search ウィンドウ を使った検索

次に、Word Search ウィンドウ を使った検索を見てみましょう。

この検索は、適当な検索フィールドの単語や、単語の組み合わせの検索をすることができます。

例) アニリン (CA索引名: Benzenamine) 及び核磁気共鳴 (NMR) に関する文献を検索する場合
最初の画面で、Searchアイコンをクリックしてください。(または、SearchメニューからWord Searchを選んで下さい) 新しくWord Searchウィンドウが開きます。

真中のテキストボックスには検索語を入力します。

検索したい語に語尾変化などが考えられる場合、



その部分を?や*で置きかえることができます。

?を使うと、1文字を置きかえることができます。

例) Base? → Bases, Basedなどを検索

*を使うと、0を含む任意の文字数を置きかえることができます。

例) Base* → Base, Bases, Baselineなど

右側のSearch Fieldsで、どのフィールドの索引語を検索するか設定します。

左側のボックスで検索語を組み合わせることができます。AND, OR, NOT検索が可能です。

ウインドウ下部のWord Relationshipは、Search FieldsにWordを指定したときのみ使用できます。

これは、複数の検索語が文献のどの位置にあるかを指定するものです。

*Same Documentを選択すると、各検索語がどのフィールドにあるかを問わずに検索します。

*Same Paragraphを選択すると、各検索語が同じ検索項目中に含まれているものを検索します。

*Words Apartを選択しその横のボックスで数字を指定すると、各検索語の間にはさまってもよい単語の数が指定できます。

*Exact Orderを選択すると、各検索語が指定した順に存在するものを検索します。(Words Apartを選択した時のみ使用可能)

Searchボタンをクリックすると、文献タイトルの一覧が表示されます。

この他にも、化学物質の階層表示 (Substance Hierarchy) や分子式の階層表示 (Formula Hierarchy) を用いた検索などがあります。

検索方法等分からないことがありましたら、レファレンスデスクまでお尋ね下さい。

また、CA on CDは学内の研究室等から学内LANを介して利用することもできます。接続方法等については電子情報係 (内線2470) までお問い合わせ下さい。

附属図書館ボランティア記念式・講演会開催—活動4年目を迎えて

〔ボランティアカウンター紹介〕

エントランスホールから入館ゲートを入り、メインカウンターを左手にまっすぐ進むとボランティアカウンターがあります。ここでは、

- ・簡単な図書館総合案内
- ・日本語の不得意な外国人の利用補助
- ・身体障害者の利用補助

を行っています。平成10年度は40名の方が、4人ずつ交替でこのカウンターで活動しています。

この他、8名のボランティアが視覚障害者の方に対面朗読のサービスをしています。

〔平成9年度の活動から〕

ボランティアカウンターを利用した人の総数は延3,337人、質問件数は3,770件となっています。利用者の内、17%が学外者、19%が外国人です。図書館の利用に不慣れな利用者にとって、ボランティアカウンターが大いに役に立っていると言えるでしょう。

対面朗読サービスは、延470時間行われました。

この他、留学生のためのオリエンテーションの補助、高校生やPTA等の館内見学案内の活動も定着してきています。

附属図書館では、平成7年6月に発足した附属図書館ボランティアが4年目を迎えたことを記念し、6月1日に、附属図書館ボランティア記念式及び講演会を開催しました。



熱心に耳を傾ける参加者

〔記念式〕

記念式では、斎藤武生附属図書館長、小熊讓附属図書館ボランティア委員会委員長から4年目を迎えた記念の挨拶がありました。また、ボランティアを代表して、ボランティアの自主的組織である「図ボラの会」会長の高田定司さんから「生涯学習の意気に燃え、一生懸命頑張っています。今後も利用者の皆様にとってより一層頼りになる存在たるべく努力を続けます。」という意欲溢れる挨拶がありました。



講演をする斎藤館長

〔講演会〕

引き続き、斎藤武生附属図書館長の「ことばの中の世界」と題する講演があり、附属図書館ボランティアに加え、図書館部職員ら50名の出席者が熱心に聴講しました。

斎藤館長は言語文化学の視点から日本語と英語の表現の違いをさまざまな例を示し、説明されました。過去指向と未来指向、起点指向と着点指向、手や足に対する考えかたの相違等をその民族のことに映し出される文化の問題として捉え、明快に語られました。普段、日常会話として私達が何気なく使っている慣用表現にもその国の民族性が反映されていることがよく分かり、日本語に対して新鮮な気持ちを抱かせてくれました。

講演後、ボランティアや学内参加者などから質問が出て、活発な質疑応答が行われました。



〔全国〕

国立大学図書館協議会理事会(平成9年度第4回)

5月28日(木)東京大学において開催されました。

〔報告事項〕○国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会報告○国立大学図書館公開事業実施委員会報告○著作権特別委員会報告○図書館情報システム特別委員会報告○身体障害者サービスに関する調査研究班報告、ほか

〔協議事項〕○平成9年度決算について○平成10年度事業計画(案)、予算(案)について○中小規模図書館に関するアンケート調査について○政策研究大学院大学の加入について○平成10年度理事館・地区連絡館等の選出について○文部大臣等に対する要望について○第46回総会について、ほか

〔地区〕

第54回関東地区国立大学図書館協議会総会

4月28日(火)千葉大学の当番で開催されました。

〔報告事項〕○平成9年度第3回国立大学図書館協議会理事会等について○平成10年度関東地区国立大学図書館協議会事務(部・課)長会議開催について○第32回関東地区国立大学附属図書館職員研修会について○身体障害者サービスに関する調査研究班について、ほか

〔報告事項〕○電子図書館システムの進捗状況について○図書館サービスの高度化に伴う実務情報の交換促進について○身体障害者サービスのあり方について○学内情報(研究、教育、事務)体制の整備について○学術情報流通体制の進展に対応した図書館経営について、ほか

〔学内〕

第208回附属図書館運営委員会(3月開催)

〔審議事項〕○平成10年度附属図書館年次計画案の策定について○平成10年度各委員会委員について○「筑波大学附属図書館利用規程」の一部改正について、ほか

〔報告事項〕○大塚図書館委員会(第19回)につ

いて○筑波大学電子図書館オープニングセレモニーについて○「図書館電子化推進特別委員会の設置について」の廃止について○筑波大学附属図書館公開講演会につて、ほか

第209回附属図書館運営委員会(4月開催)

〔審議事項〕○平成10年度専門委員会委員の選出及び委員長の指名について、ほか

〔報告事項〕○電子情報サービスの拡充について○平成10年度附属図書館ボランティア委員会委員について、ほか

第210回附属図書館運営委員会(5月開催)

〔審議事項〕○平成10年度図書購入計画について、ほか

〔報告事項〕○蔵書構成専門委員会(第48回)について○附属図書館ボランティア委員会(第10回)及びボランティアとの懇談会(第7回)について○平成9年度附属図書館業務統計について○第54回関東地区国立大学図書館協議会総会について○筑波大学附属図書館特別展について、ほか

平成10年度図書館部職員研修会開催

4月21日(火)中央図書館集会室において開催されました。

図書館情報大学情報資料係長平岡博氏、筑波大学電子・情報工学系教授西原清一氏、図書館部情報管理課長内藤英雄氏、研究協力部国際交流課岩見真二氏の4氏に「イギリスとフランスにおける電子図書館」というテーマで、最新のヨーロッパの電子図書館の現況について講演していただきました。本学図書館職員のほか、近隣の大学図書館から多数の参加がありました。

目録システム地域講習会について

5月27日(水)～29日(金)中央図書館において開催されました。学内外から9名が受講し、学術情報センターの荻原目録情報課相互協力係員はじめ4人の講師により、目録システム概論、図書登録の講義及び実習が行われました。

掲示板

夏休みの利用について

夏季休業期間（7月1日～8月31日）の開館時間及び図書の貸出期間は以下のとおりです。

○開館時間及び貸出受付時間

	開館時間	貸出受付時間
中央図書館	9:00～17:00	10:00～16:00
体芸図書館		
医学図書館	9:00～20:00	10:00～19:00

*土曜日・日曜日・祝日は閉館します。

○貸出期間（全館共通）

6月24日（水）から8月17日（月）までの間に一般貸出を受けた図書は、返却期限を通常の3週間より延長します。

これらの図書の返却日は、9月1日（火）から9月14日（月）の間のいずれかの日（貸出を受けた曜日と同じ曜日）になります。返却期限を確認し、延滞のないように注意してください。

不明な点がありましたら、各館のメインカウンターまでお問い合わせください。

本学関係資料寄贈のお願い

中央図書館の本学関係資料室では、学内の組織・団体等が著作、編集、刊行等に携わった図

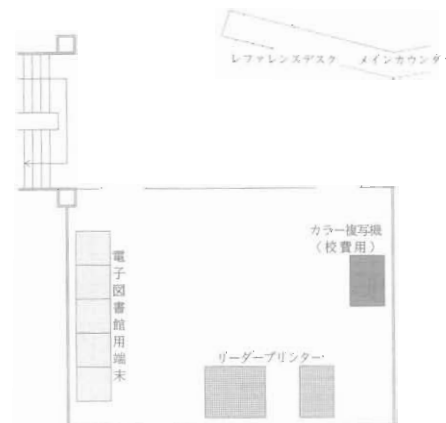
書、逐次刊行物、パンフレット、視聴覚資料及び本学の沿革、現況に関する各種の記録資料を収集・保存し、利用に供しています。なお、サークル誌・学類誌等の学生組織・団体の発行しているものも対象としています。

上記のような刊行物がありましたら、ご寄贈くださるようお願いいたします。

連絡先は、収書計画係（内線2349）です。

体育・芸術図書館からのお知らせ

体育・芸術図書館では、2階情報検索（PACS）コーナーを拡張し、メインカウンター前のコーナーに、電子図書館用端末、校費用カラー複写機及びリーダープリンターを移動しました。どうぞご利用ください。



編集室だより

いよいよ電子図書館サービスがスタート。その開始にあたり、海外の電子図書館の現況を視察に出かけた報告記事を掲載しました。

なお、本誌は電子図書館のWWWページでも提供しておりますので、併せてご覧下さい。

URL <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>

本年度の館報「つくばね」編集委員は、次の8名です。

主 査：情報管理課長 内藤英雄
副 主 査：情報管理課企画渉外係長 茅根邦子
情報管理課：大澤類里佐
情報サービス課：平井裕美、真中篤子、渡辺雅子
情報システム課：門松ゆかり、石山 恵